

# JALグループ社員が皆さんの夢を応援します 「空の仕事を知ろう!」を開催

私たちが大切に考える4つの分野 ▶ 〈日本と世界を結ぶ〉 〈安全・安心〉 〈次世代育成〉 〈環境〉



01.社員は時には身振りを交えて、質問にお答えしました。02.ハンガーでの実機見学で、参加者が案内担当者からの説明に熱心に聞き入る様子。03.最寄りの滑走路から夕日をバックに離陸する飛行機を、皆で見送りました。

に見入ったり、見学案内の担当スタッフに質問をしたり。思い出としてたくさん写真も残しながら、見学の時間は過ぎました。  
教室に戻ってからは、いよいよ、航空業界の第一線で働く社員への質問の時間です。各職種の制服姿の社員たちを、大勢の積極的な学生の皆さんが囲んでスタート。社員たちは、自身の学生の頃の気持ちを思い出しながら、あるいは、入社後の業務経験を交えて、それぞれの空の仕事について寄せられる質問に、一つ一つ

「空の仕事を知ろう!」  
このイベント内容は?

この数年、中学・高等学校におけるキャリア教育の浸透により、JALグループには全国の中学生・高校生の皆さんから、パイロットやキャビンアテンダントなどヘインタビューのご要望が多数寄せられています。これらの声にお応えするために『空育®』の一環として、2013年8月より本イベントが始まりました。JALグループの各職場で働く社員が、航空の世界を目指す学生の皆さんからの質問に、直接、お答えする機会となっています。

将来の夢をもつ学生の  
皆さんをお迎えしました

当日は、JALグループの第一線で日々のフライトを支える、パイロット、キャビンアテンダント、整備士、空港旅客スタッフが参加し、羽田空港内の『JAL SKY MUSEUM』（整備工場見学の施設）に参加応募

丁寧にお答えしました。

空の仕事への思いを  
未来へ繋げるために

今回のイベントについて、参加した学生の皆さんからは「自分で調べてわからないことも知ることができた」「自分が悩んでいたことを（社員と）会話することで解決できた」「空の仕事に就きたいとあらためて思った

をされた皆さんをお迎えし、イベントがスタート。まずは、実際の飛行機を間近に見学していただくことができるハンガー（格納庫）のご案内しました。  
この日のハンガーでは、ボーイング767型機が整備中でした。参加者の皆さんは大きな機体を下から間近に見上げながら、普段は近くで見ることができない機体の細かな部位

た」など、さまざまな感想が寄せられました。また、参加者の質問に答えた社員自身も「自分がこの仕事を選んだ時のことを改めて思い返し、日々の仕事に当たる思いを新たにしたい」などの感想を寄せ、大きな気付きを得られました。

飛行機への興味、サービスの追求など航空の仕事に進む動機は人それぞれですが、JALグループは、これからも空の仕事を目指す次世代の皆さんの思いを大切に受け止め、希望の実現に向けて応援していきます。



インタビューの時間には、グループ形式で質問にお答えしました。学生の皆さんからの熱意が伝わってきました。

■私たちが取り組むCSR活動に関する詳細は、こちらでもご覧いただけます。  
[www.jal.com/ja/csr/](http://www.jal.com/ja/csr/)

■『空育®』についての詳細は下記をご覧ください。  
[www.jal.com/ja/csr/soraiku/](http://www.jal.com/ja/csr/soraiku/)

## お知らせ

### 次回「空の仕事を知ろう!」について

今回ご紹介した本イベントを、次回は以下のとおり開催いたします。JALグループの各職場で働く社員に直接質問いただける機会です。奮ってご応募ください。

- 日程：11月11日（土）
  - 時間：未定（午後を予定しています）
  - 場所：日本航空本社（東京・野村不動産天王洲ビル）
  - 対象：全国の中学・高校生
- 応募はこちらから：[www.jal.com/sky\\_job/](http://www.jal.com/sky_job/)



2015年9月、全国連加盟国（193カ国）により「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）」が採択されました。2030年までに、貧困や気候変動、平和的な社会などの17の目標を達成すべく、JALグループも社会課題の解決に取り組んでいきます。

今回のテーマに当てはまる目標

